

教育委員会議事録

平成31年2月定例会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(平成31年2月定例会)

- 1 日 付 平成31年2月8日（金）
- 2 場 所 えびなこどもセンター201会議室
- 3 出席委員 教育長 伊藤 文康 教育委員 海野 恵子
教育委員 松樹 俊弘 教育委員 平井 照江
教育委員 酒井 道子
- 4 出席職員 教育部長 岡田 尚子 教育部次長 金指 太一郎
(総務・社会教育担当)
教育部次長 小宮 洋子 教育部次長 伊藤 修
(学校教育担当)
就学支援課長兼 小林 丈記
指導主事
教育支援課長兼 和田 修二 学び支援課長補佐
指導主事 兼学び支援係長 西海 幸弘
教育総務課文化財 押方 みはる
係長
- 5 書 記 教育総務課主事 湊 大輝 教育総務課主事 谷田 久美
- 6 開会時刻 午後2時00分
- 7 付議事件
- 日程第1 議案第5号 海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会条例の廃止に関する意見の申し出について（非公開事件）
- 日程第2 議案第6号 海老名市史編さん審議会条例の廃止に関する意見の申し出について（非公開事件）
- 日程第3 議案第7号 海老名市文化財保護条例の改正に関する意見の申し出について（非公開事件）
- 日程第4 議案第8号 平成31年度ひびきあう教育実践委託事業費に係る「特色ある取組加算額」について（非公開事件）
- 8 閉会時刻 午後3時25分

○伊藤教育長 本日の出席委員は全員でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会2月定例会を開会いたします。

今会の署名委員は、松樹委員、海野委員によりしくお願いいたします。

○伊藤教育長 はじめに、**教育長報告**でございます。資料をご覧ください。

まず、主な事業報告でございます。

1月18日（金）は、教育委員会1月定例会が行われました。その後、用務員会議がございました。松坂市議会視察（学校プール）ということで、私が説明しました。校長教頭合同懇賀詞交歓会に皆さんにもおいでいただきました。

19日（土）は、防災講演会でございます。

20日（日）は、駅伝があつて、毎年その前に交通指導員指導始式ということで、駅伝を皮切りに1年間よろしく願いますという会がありました。

21日（月）は、タブレット朝会（有鹿小学校）、文化団体連合会新年式に行つてまいりました。毎年昼から華やかな会で、年休をとつて行つたわけではないのですけれども、私もゆつくりと出し物をみたいなどいつも思っているところでございます。

22日（火）は、最高経営会議、台湾バナナ寄贈式（大谷小学校）、海老名警察署員を励ます会ということで、本当は武道始式が毎年あるのですけれども、今年は台湾バナナ寄贈式がありましたので、私はそちらに参加しました。この日は、海老名駅前で女性の方から、強盗に襲われた、強盗はナイフを持って逃走中だという報道が入つて、市内小中学校へ連絡しました。中学校に連絡しているときに誤報であることがわかつたのですけれども、小学校は集団下校等をしたところでございます。

23日（水）は、週部会があつて、ひびきあう教育実践研究発表会（今泉中学校）がございました。海老名医師会新年会がございました。

27日（日）は、第30回MOA美術館全国児童作品展表彰式・実行委員会がありました。上星小学校の子どもが書いた非常にすばらしい作品が銀賞をいただきまして、その表彰式を見に行つてまいりました。

28日（月）は、いじめ問題対策連絡協議会がございました。海老名市さつき会がございました。これは市議会議員のOB会でございます。

29日（火）は、合格祈願豆腐贈呈セレモニー（海西中学校）で、今年も中学校3年生に豆腐の寄贈がありました。市長定例記者会見、海西中学校生徒会との面談ということで、

今度総合教育会議が2月16日に行われますので、そこで海西中学校の子どもたちが提案をするということで、その面談に行っておりました。

次のページですけれども、30日（水）は、週部会、教育課題研究会で委員の皆様に来てもらいました。1月臨時教育委員会がございました。その後、ひびきあう教育実践研究発表会（今泉小学校）でした。この日は海老名青年会議所新年会がございました。

31日（水）は雪に関する情報連絡会ということで、ここは雪が降らなくて済んだところでございますけれども、実を言うと、今日も午前中に雪に関する情報連絡会があって、教育部長が行ったのですけれども、明日と11日（月）も含めて2日間、降雪の予報があるということでございます。ただ、千葉とかの南岸沿い、茨城とか千葉はいっぱい降るのですけれども、この辺はそんなに降らないのではないかなと思っています。ただ、雨というか、降水だったら、確実に雪になる気温だそうです。非常に寒いということですので、皆さんもお気をつけください。

社会教育委員会会議がございました。現職教育運営協議会がございました。教科書事務担当者会です。社会教育委員会会議は、どこかの機会に皆さんにまたお伝えしなければいけないのですけれども、社会教育計画の見直しということで、社会教育委員さん方がみんなで作るといふか、会議の中でみんなでお話し合っ、1年間かけて社会教育計画をつくるという形で、今年度末から次年度進めたいと考えているところでございます。

2月に入って、1日（金）は、朝のあいさつ運動（海老名小学校）に行きました。ここは、実を言うと海老名中学校のタブレット朝会があったのですけれども、インフルエンザが流行していて、この時期に子どもを集めるわけにはいかないのです、ここはもう朝会をやめました。市議会2月臨時議会がございました。臨時最高経営会議、ひびきあう教育実践研究発表会（有鹿小学校）に皆さんにも来ていただきました。

4日（月）は、教育課題研究会、海老名警察署管内学校警察連絡協議会がありました。県央教育長会議がありました。

5日（火）は、2月校長会議がありました。プログラミング授業参観（社家小学校）をさせていただきました。今回はレゴでつくったロボットを線とかなんかに合わせて操作するとか、センサーか何かでストップさせるとか、そういうものを外部の方を講師に招いて研修をしました。私が見たのは3時間目と4時間目で、休憩時間だからトイレに行ってくださいと言ったら、男の子が1人だけ行きましたけれども、それ以外は全然休みもしないで、ずっとプログラミングを夢中になってやっておりました。子どもってすごいなと思っ

たくらいでございます。

6日（水）は、週部会、教育支援センター運営協議会がございました。今日もあったのですけれども、平成31年度新採用予定教職員面接がもう始まったところでございます。

7日（木）は、昨日は2月教頭会議がありました。よりよい授業づくり特別版（中新田小学校）が行われました。

8日（金）は、教育委員会2月定例会、今日でございますので、H31新採用予定教職員面接は午前中に行ったところでございます。

それでは、主な事業報告について、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

○海野委員 一番よかったなと思ったのは台湾バナナ寄贈式（大谷小学校）で、子どもが給食の時間にバナナを分けて、すごく有意義な時間だったのだろうと思いますけれども、台湾からいただいたということについては、子どもたちも何でだろうと思うでしょうし、なぜ台湾からいただいたのでしょうか。

○伊藤教育長 台湾の方々はある種、交易のために、ある程度ビジネスでやっているのですよね。ただ、そういうビジネスの中で、1つは市長が台湾との交流があったりもしますので、今までは、保育園、幼稚園にバナナや、ある年はマンゴーをいただいたときもあるのですけれども、さすがにマンゴーを生徒の数だけ送れないようで、今回はバナナをいただきました。急な話ではありましたが、大谷小学校でそれを受けていただいて、結果として、大谷小学校の子どもたちはすごく喜んでいました。私もちょっと無理を言ってやってもらったところがあるのですけれども、またうちの担当の小宮次長（学校教育担当）もかなり無理をしてやったのですけれども。

台湾は大使館を置くわけにいかないのです、日本の事務所の代表のような方が来るということで、いろいろな人がついて来るのですよ。だから、すごく大規模になって。でも、うれしかったのは、子どもたちが台湾バナナをおいしく食べていたのが一番かな。いろいろなこともそうなのですけれども、学校は教育課程で決められたことをやらなければいけないのですけれども、そこで学ぶことも勿論大事ですが、それがあるからといって、ほかのものを入れなくて良いわけではありません。そういう意味ではこれはとても良いチャンスでした。違う国の人に来て、日本語は余り上手ではないけれども、ご挨拶されたこととか、台湾の国旗はこういうものであったとか説明をされていたことはすごく印象が強くて、逆に言うと、それを社会科の授業で扱って、そういうコーディネートをするのも学校の先生の仕事かなと最近思っているのです。それがある意味では社会に開かれた教育課程

の1つの要素でもありますので。

○海野委員 子どもたちにはいい体験になったと思いますので、ありがとうございました。

○酒井委員 2月5日のプログラミング授業は、レゴブロックを題材にして、外部から人がいらっしまったということなのですからけれども、どのような団体の方なのですか。

○教育支援課長 小学校にはiPadが45台ずつ入ったのですけれども、その契約の中で実際に外部の方にiPadを使ってプログラミングをやっていただくような内容もお願いしてありました。市内で3校、今年度お願いしたうちの1校に授業していただいたのですけれども、内容としては、iPadで自分がプログラミングした動き、ロボットというと、簡単に言うと車のようなものでして、その車を動かす仕組みを自分で考えながら、実際にテープで張ったコースの上をそのとおりに動くかどうか、プログラミングをしながらやっていくという内容です。なかなかうまくいかなくて、いろいろな試行錯誤があるので、その試行錯誤が子どもたちはまた実に楽しそうで、自分のやったプログラミングどおりに動いて、コースのとおり走らせるように子どもたちは頑張っていました。

○酒井委員 それは継続的に今後もやっていただきたいですね。

○教育支援課長 今後も継続したいとは考えております。

○酒井委員 楽しそうで良いと思います。プログラミングの最初の間口としてはすごく魅力的で、聞いていて、私も見に行ってみたいなと思ったので、3校と言わず、ぜひたくさんの子どもが体験できるように実現していただけるといいなと思っています。

○伊藤教育長 酒井委員がおっしゃるからではないけれども、私が1つ感じたのは、男の子が夢中になるのはわかるのですが、女の子の中でも好きな子が出てくるのですよ。理系がどうかというわけではないのですけれども、女の子の中でもそういうのが本当に好きな子が出てきて、そういう子が本当に自分の楽しいこととか、やりたいことをそこで知りするとありがたいなと思って、子どもたちには多くの機会を設定する必要があるのかなとは感じているところでございます。

○松樹委員 今のプログラミング教育で、外部から講師が来られたということなのですが、今後の展開として、例えば教材というか、機材を購入して、学校で先生たちが自身でプログラミング授業をすることができるような、活用できるような展開も私はできるのではないかなと思うので、その辺も研究をしていただければと思います。外部から来てもらってやってもらうのではなくて、キットというか、学校の中でもタブレットがあれば、そ

れと連動してできるとかいうのがあるのであれば、また、プログラミング授業が学校の中で通常通りできると良いなと思いますので、そういう研究も今後はしていてもらいたいなという気がします。外部の方ばかりに頼るということをずっと続けるわけにはいきません。また、費用面とか、予定とかもいろいろあると思うので、そういう研究というか、これぐらいで、こうしていこうという方向性を見出してもいいのではないかなと思いますので、ご検討いただければと思います。

もう1点、毎年いただいている富塚さんのところの合格祈願豆腐なのですが、私たちもいただいてしまって、大変おいしくいただきましたけれども、秋には月見のお豆腐も配っていただいて、本当に毎年毎年で、聞くと、販売ラインを1回全部とめて、専用のラベルをつくって、全部入れかえてという作業をやって、洗浄をかけて、そこまで手間をしてやってくれているので、例えば子どもたちの合格の声を届けてあげるとか、やってよかったと思えるような施策というか、何か返してあげると言ったら語弊がありますがけれども、何かやっていただきたいかなと思うので、各学校単位なのか、わかりませんが、その辺のご検討をいただければと思います。

○伊藤教育長 市としての表彰みたいなものは定例で、また50周年とかなんかのときにあるのだろうけれども、1回来てもらいたいですね。各学校からは、贈呈式のセレモニーだけで満足なさっているところがありますけれども、そういうことは大事だと思います。

○松樹委員 気持ちを返してあげるとか、何かそういうものができればと思いますのでお願いします。

○平井委員 今泉小学校で研究発表された科目は英語でしたよね。研究をしているだけあって、先生たちの意気込みが少し違う印象を受けました。ああいう姿を見ていると、やはり来てくださった先生方にも少し刺激にはなったのかなと思います。担任の先生がするのと違う切り口でやった授業を見させていただいて、以前に比べたら随分先生たちの中にも英語の指導が入ってきているし、子どもたちにも学ぶ姿勢が出てきて、確実に英語が学校教育の中に入ってきているなという感想を私は持ちました。

○伊藤教育長 次年度、前倒しで、海老名市としては教育課程、要するに新教育課程のもので、時数をふやして独自に進めるのですけれども、そこに向けて担当の加藤指導主事がここ数年、かなり頑張ってくれています。先生方のモチベーションを高くしてくれたなどは思っているところがございます。

それではよろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 次は、今の平井委員のことに関係あるのですけれども、もう1つ、2番目の「研究授業について」というテーマで私の思ったことを書きました。

平井委員は教職員経験者ですからわかるのですけれども、ここにあるように教職員は教育公務員特例法という法律の中で教育公務員、いわゆる先生たちは「その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」と法で定められているわけです。現職教育運営協議会とかがあるのですけれども、それは、具体で言うと、海老名市の研修の計画なのですね。それとともに、現職教育というのは各学校の研修もそれに当たります。実を言うと、教育委員会の使命は何かというと、そういう場を設定しなければいけないし、その指導ために指導主事を置くことはあるのですけれども、そういう中で、初任者研修とか年次研修、校内研究、研究発表会、中には研究事業というものが含まれているのです。先ほどの今泉小学校、有鹿小学校もそうですし、今泉中学校もそうです。それから、よりよい授業づくりの【特別版】などでの「研究授業」をしています。そういうものが今どんどん始まって、私は今年から授業改善を考えています。

先生たちが、自分たちがよりよい授業をするために改善してほしいということを1つの柱にしまして、それが各学校で行われているなというのが私の印象なのですけれども、「研究授業」を行うときは、まず管理職を初め多くの先生たちがかかわって、学校としても物を1つ作り上げるような感じなのです。例えば皆さんに配布された冊子、あまり読まないかもしれませんが、文言1つ1つをみんなで吟味して作成しています。授業指導はもうみんなでかかわって、大体校内研究で自分の学年が発表すると、学年団とか、3、4年生の体育とか、1、2年生の体育とか、まず予備授業として自分で授業をしているのを見てもらって、指導案を加えて、みんなで議論するのです。そういう活動をずっと学校はやっていて、それは私としてはすごくおもしろいな、うれしいなと思っています。そういうことが各学校でみんなが活発にやれるような姿、それがひびきあう教育の研究発表会とか、よりよい授業づくり【特別版】の中で皆さんで議論しているのです。だから、そんなものが大分海老名市として復活してきたなと感じています。あとは、中学校がもうちょっとそれをやってくれるとありがたいのだけれどというのが私にとっては課題なのですけれども、小学校はかなり研究授業をやってます。

記載しているように、私は何がうれしいかというと、本当にこれが授業改善、学校現場の方向性として実践されていることです。やはり自分で授業を見て、子どもと子ども、子

どもと教職員がひびきあう教育の中でやったけれども、その成果が実際に見えるわけですよ。子どもたちが隣の子に話しかけて教えてもらったり、隣をのぞき込んで答えを写したりも含めて、何かかかわっている。先生たちとのかかわりもそうだし、そういうことがもう実際の場面であります。

実を言うと、3番目のひし形、学校の代表として、授業者が、自分が授業をすると決めて、授業を公開していること。これは結構大変なのです。前は誰がやるか、ひどいときは押しつけ合いみたいになって、何とか先生やってよなんていう形で決めたこともありました。あそこで授業をする人はかなり緊張しているのです、みんなの代表として。ひどいときには、私もジャンケンで決めたこともありましたが、それぐらい押しつけ合うのです。人前で授業をするのは大変ですから。でも、本来は、その人の授業がマルか、バツかを判定するのではなくて、提案をもとにみんなで話し合っ、よりよいものをつくるという発想なのです。だから、そういう場で教壇に立っている先生たちを見るだけで、前向きな姿勢でよく頑張ったなと思うのですね。研究授業というのは、先生たちは、教員をやっている間、ここからはずっと逃れることはできないのですけれども、そのよさがあるなと思ったところがございます。こういう中で本当に先生たちは切磋琢磨して、みんなで子どもたちのために、子どもたちがわかる授業とか、よりよい授業をこれからもずっと続けてほしいと思います。

ただし、これは法律に定められた仕事でございますので、しっかりやってほしいなと思っ、ているところがございます。これが「研究授業について」です。

もう1点は、後ろに先生方宛ての便りを出しています。これはメールで配信しました。「思うこと」ということで、ここにいろいろ書いてあるのですけれども、メールで出したものですから、メールが四、五件戻ってきたのですよ。それがすごいなと思って。だから、今度は返信可ですとか書こうかなと思っています。大体は励ましのメールだったりしますので。ここには、子どもたちに伝えたいなら、自分の「今」を常に更新しなければいけないという趣旨のことも書いたのですけれども、ここにあるように、幾つになっても、子どもより一歩先を生きているのが先生だよということなのです。先生は先に生まれたからではないけれども、とにかく子どもたちより一歩先に行って、見せていく。でも、それは今の自分を常に更新して、よりよくしていく姿を見せるのだよということを書いてあるのですけれども、そうすると、今の自分を更新して頑張りたいと思いますとか、戻ってきました。そういうことでございます。

それでは、研究事業ということで、これは感想みたいなものですがけれども、平井委員、
どうですか。さっき英語のことでお褒めいただきましたけれども。

○平井委員 研究授業を校内の代表としてやったというのは、一生忘れられません。鮮明
に覚えていますし、そのときにいただいた指導主事からの言葉も本当にいまだに頭に浮か
んでくるのですよ。いいにつけ、悪いにつけ。それがすごく生きるのですね。ああ、この
ように言われたのだったら、絶対にそういう授業はしてはいけないのだというふうな思い
で、いい授業なんかはとてもできないけれども、心の中に残るといえるのは、すごく大変だ
けれども、そこに自分の力を注いできたというのはすごくいい勉強になるので、やはりあ
そこで授業をしてくださった先生方にとったら、一生やっていく中ではとてもいい経験に
なると思いますし、ぜひそういうものを私はやってほしいのですね。どうしても偏ってし
まうような感じもするので、自分が何をもちいていい授業とするかというのはまた別ですけ
れども、みんなに見せられるというか、子どもと一緒に授業をしている姿をみんなに見て
もらいたいという思いを抱ける先生になってほしいです。そうしたら、すごくオープンに
なって、いいものが出てくるのではないのかなと思います。囲いの中ではなくて、本当に
さらけ出してできる授業がいいのではないのかなとすごく思いましたし、若い先生たちの
エネルギーがすごいなって。この間、授業をされた先生方も多分20代後半から30代ぐら
いの先生かなと思うのです。年数的にちょうどいい年数だし、ああいうときに授業をして
ただけというのはすごくいいなと思いますし、少し海老名も活気が出てきているかなと
感じました。

○伊藤教育長 わかりました。もとに戻って、先生方の本務というか、自分たちのもとも
との仕事に力を注いでほしいですね。授業後の話し合いも結構おもしろいのですよね。ぱ
っと授業をして、この結論になったけれども、では、この結論ではないような授業をする
ためにはどこに問題があったと思うという話になって、では、その問題はどうすればよか
ったと思うか、みんなに問うのですよ。だから、みんなでもた話し合って、ああだ、こう
だとやりとりしてやりますので、実践的な本当にいい勉強ができているなとは思っていま
す。

では、教育長報告はこれでよろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、報告はこの程度とさせていただきます。

○伊藤教育長 これより審議事項に入りますが、日程第1から日程第4、議案第5号から議案第8号は全て市議会上程案件となりますので、非公開で行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、これより本会議は非公開といたします。

(非公開事件開始)

(非公開事件終了)

○伊藤教育長 以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会2月定例会を閉会いたします。